

情報連絡員報告総括表(平成31年3月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況						
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化				
製 造 業	食 料 品		3	1	1	3		1	3			3	1		2	2		3	1	1	3			4			3	1				
	織 維 工 業		2	1		3		1	2			3			3			3			3			3			2	1				
	木 材 ・ 木 製 品			1			1		1				1			1		1			1			1				1				
	紙 ・ 紙 加 工 品			2	1	1			2			2				2			2			1	1		2			1	1			
	印 刷	1				1			1			1		1				1		1				1		1						
	化 学 ・ ゴ ム																															
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2			3			3			3			3			3			2	1		3			3					
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1			1			1			1			1			1				1				
	一 般 機 器		2	1		2	1		3			3			2	1		2	1		2	1		2	1	1	1	1	1			
	電 気 機 器	1				1			1			1		1			1			1				1			1					
	輸 送 機 器		1				1		1			1			1			1			1			1			1					
	そ の 他																															
小 計		3	10	7	2	14	4	2	18			18	2	2	12	6	1	17	2	3	12	5	1	18	1	2	12	6				
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		2			1	1		2		X				2			1	1				
	小 売 業		3	3	1	2	3	3	2	1		3	3		2	4		3	3							5	1		2	4		
	商 店 街		1			1			1			1			1			1								1			1			
	サ ー ビ ス 業	2	2	1	X			1	3	1		4	1	2	2	1		5								5			5			
	建 設 業	1	2	1				1	3		1	3		1	3		1	3					1	3				4		1	3	
	運 輸 業		1								1			1			1						1					1			1	
	そ の 他		1								1			1			1						1					1			1	
小 計		3	11	6						6	11	3	2	14	4	3	11	6	1	16	3				19	1	1	14	5			
合 計		6	21	13				3	18	8	8	29	3	2	32	6	5	23	12	2	33	5	3	12	5	1	37	2	3	26	11	

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年3月～平成31年3月)

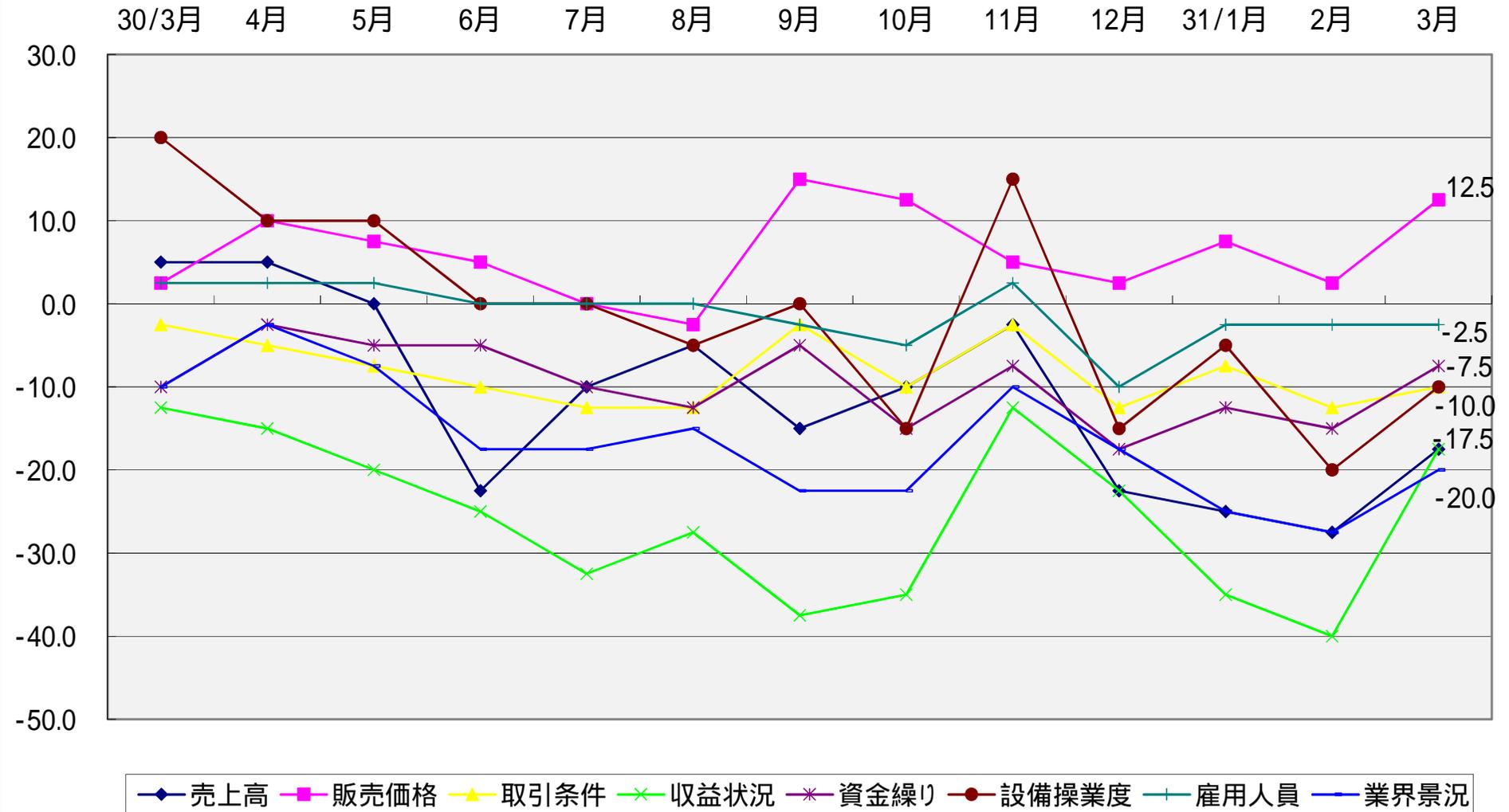
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	2月	3月	増減
売上高	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	10.0
販売価格	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	5.0	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0
取引条件	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	2.5
収益状況	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	22.5
資金繰り	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	7.5
設備操業度	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	10.0
雇用人員	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの確保を進めている。また、外国人技能実習生への対応として漬物製造管理者の2級以上の有資格者育成のため、名古屋市において3月10日に検定試験が実施され、三重県から5名が受検した。更に4月27日に東京ビッグサイトにおいて、漬物グランプリ2019が開催される。
	醤油味噌	3月16日～20日にイオン沖縄ライカム店で「三重・しょうゆ街道」(展示即売会)を実施した。県産しょうゆなどを約1,370個販売した。4月12日～14日にはイオン東員店と津南店で同時開催予定である。
	豆腐	2018年産の国産大豆が不作で、大豆の価格の高騰が心配される。
	製麺	新年号が公表され、伊勢神宮は、これから5月にかけて多くの人々が参拝に訪れることが予想されるため、伊勢うどんのPR活動にも良い傾向である。また、新名神が開通し、交通渋滞が緩和され、益々伊勢神宮へ参拝客が増えることが予想される。今後の伊勢うどんの売れ行きを期待したい。
繊維工業	テントシート	人手不足・人件費高騰・材料不足を実感している。2018年の大型台風被害で仕事が急激に増えたが通常の仕事が前倒しになったと感じる。
紙・紙加工品	紙器段ボール	昨年から継続している段ボールケース・製品のユーザーへの値上げ要請活動が、4月1日の決着を目指しピークを迎えた月間になった。件数的には90%位は完了するも、一部大手ユーザーへの値上げが苦戦している状況である。段ボールケースの物量は若干マイナスとなった。
	古紙	3月期の古紙仕入量は、前年比で、段ボール：約99±3%、新聞・チラシ：約92±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて約100±4%の中で推移した。世界的な景気の減退か、都市部と地方都市の差であるかわからないが、段ボール古紙の回収にバラつきがあるようである。新聞・チラシは、読者減少と合わせて軽量化とページ減少、広告減少で集荷が大きく減少を続けている。雑誌・雑紙等も変わらず雑誌の発行量の減少が大きい。地域によってはリサイクル意識の向上や会社や家の片づけなどにより、古紙の発生があるようで、集荷が多くなっているようである。中国の古紙の輸入制限により、日本の古紙輸出価格が大きく下がったままである。業者在庫はあるところとないところがあるようである。古紙の輸出価格が下落しても古紙の持ち去り行為は今も残っており、新聞古紙は持ち去り、雑誌・雑紙古紙は持ち去らない結果なのかもしれない。古紙の集荷や出荷のための運転手も不足している中、働き方改革の週休2日で年間有給5日以上消化には対応に苦慮する組合員が多いと思う。
印刷	印刷	年度末の繁忙期と選挙関係等、需要は他の月と比べて格段に増加した。しかしながら、官公庁をはじめ多くの印刷物は、年度内納品厳守のものが多く、年度初めは、例年厳しい状況である。今年の新年度は、新元号発表による印刷需要の期待とGWの大型連休により生産数量の大幅な落ち込みや休日出勤、過度な残業が危惧される。
窯業・土石製品	伊賀焼	3月末をもって伊賀・信楽古陶館が閉館となるため、3月中旬から2割引セールを実施し、その影響もあってか入館者数、売上とも昨年を大きく上回った。一方、伊賀焼伝統産業会館ではガソリン価格の上昇もあってか入館者数、陶芸教室は昨年を下回った。売上については昨年を上回った。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は減少傾向にあるが、自動車部品関連は2月同様で横並び、産業機械関連部品は減少、建築部品関連はやや増加、単品物は増加傾向、その他は増加減少と様々であった。半導体関連は前月同様低迷したままである。全体的に日銀短観発表と同様減少傾向である。
一般機器	四日市	米、中の貿易障害、ロシアの自国最優先政策。EU諸国の低迷等、世界経済は不透明感を増している。新元号が決まったものの、国内では諸物価の高騰、消費税アップも近い。悪条件の中で会員の自助努力が続いている。
	伊勢	昨年秋頃から景気の低迷を実感し、現在まだその状況が続いている。景気が早急に回復せず、今年10月の消費税率引き上げと重なってしまうようなら深刻な事態となりかねない。
電気機器	鳥羽	期末対応も終わり、中旬から受発注は減少傾向である。昨年が100とするなら今年度は95くらいの稼働であった。
輸送機器	鈴鹿	年度末ということもあり、中旬までは在庫調整のため全体的に低調であった。しかし、その反動で4月は若干多めの受注量があり、作り溜めのため、3月下旬からフル稼働に近い繁忙となった。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	青果	野菜前半：トマト、ミニトマト、キュウリは順調に入荷した。県内産ナバナの生育が良好でお買い得である。新玉葱は入荷が増え例年より安い。ほうれん草・大根・キャベツは安値。野菜後半：価格が上向いているものがあるが、全体的に安い。キャベツ・白菜・大根は例年よりかなり安い。ニンジンも入荷が増え価格が下がっている。ジャガイモは鹿児島産が豊作で安値が続いている。新玉葱も例年より安くスライスしてサラダに最適である。果物前半：イチゴの入荷が増えているが、価格は横ばい、リンゴは少し安くなってきた。南紀のデコポンは味が良く、水分もたっぷりである。果物後半：イチゴは入荷が増え、値が下がってきた。県内産甘夏の入荷も増えてきた。青森県産リンゴは価格が下がっており、お値打ちである。
	自転車	3月上旬は1～2月に予約注文を受けた商品の組立、配達といった業務が多くなった。予約されなかったユーザーが3割以上あり、2月下旬～3月中旬に期待したところ、大型店、チェーン店といったところへ流れたようである。どの地域も少子化により売上台数は昨年対比3ヵ月間で15%程度の減少となった。しかし、一部ショップでは自転車点検(Tマーク付帯保険)が昨年より20%以上伸びているとの報告も届いている。
	石油	3月の燃料油販売数量の状況は、前年対比7%前後の減販状況であった。灯油販売についても暖かい日が続いたため、販売数量が落ちてきており、燃料油の収益面においては、先月同様に厳しい状況であった。4月1日に出光興産と昭和シェル石油が経営統合し、ガソリンシェア30%強の元売が発足する。灯油商戦も終わり、自動車燃料を主体として洗車・オイル・タイヤの販売強化を行いたい。
	スポーツ	3月は年度締めの日である。組合員にとっては年度内の集金、新しく入学する生徒たちの体操服の受注と忙しい月であった。年度予算の関係であるのか、かなりの注文があった。ただ3月の初めに補正予算を組み直し、3月中に納品して欲しい等、行政の都合が目立つ。我々組合員にとっては受注して納品したいのであるが、納品までの日数がタイトであるため、受注できないことが多々ある。
商店街	熊野市	3月の朝市イベントは、毎年恒例となっている三重県衛生士会南紀支部の「歯科指導コーナー」、三重県看護協会紀南支部のお馴染みの「まちの保健室」、そして、紀南薬剤師会の「お薬相談」と各医療機関の協力を得て「健康診断スタンプラリー」を開催し、高齢者のお客様を中心に集客に繋がった。
サービス業	旅館	昨年の3月は好調であったが、今年も昨年に並ぶ業績であった。春休みに入ってから予約も伸び、活気のある日が続いていた。統一地方選挙の年は今までは沈んでいたが、それを上回る改元効果等いつもと違った明るい雰囲気が旅行動機に繋がったようである。伊勢神宮の参拝客はほとんどが日帰り客とはいうものの、少しでも地元で宿泊してもらおうよう努力が必要である。
	測量	年度末でもあり忙しく、納品・検査の時期でもある。31年度も始まったが、組合としての品格・資格も薄れて行政からの問い合わせなどは無に近く、中央会からの圧力も期待できず、メリットなしの声がでる。
	警備	例年のごとく、官公庁の工事完了年度末となり、大変多忙であった。
	内装工事業	昨年後半からの流れを受け、増減を繰り返す中、年度末ということもあり、大幅な売上増加となった。
	水道工事業 (四日市)	3月は年度末ということで多少慌ただしさを感じられたものの、景況感が好転しているようには感じられなかった。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	伊勢うどんサミットを盛り上げていきたい。今後の広がりを期待してうどんサミットを知って頂き、全国のうどんを食べて頂きたい。それに伴って、伊勢うどんを広げていきたい。
一般機器	四日市	中小企業に対する支援策の強化。特に補助金の増額を要望する。
一般機器	伊勢	補助金の使い勝手が悪いので改善して欲しい。せっかく利用しようと思っても発注時期等誓約があり、うまく当てはまらない。
サービス業	旅館	改正入官法による「特定技能1号」の申請をするのに末端では方法が分からず、苦慮している。現在、従来からの実習生、インターンシップの学生を受け入れていたが、入替の時期の場合には、次の申請をしないと間に合わないため、早急に制度の整備をお願いしたい。